市民による芸術文化の共同事業体情報誌「ぬーべるふぉんてーぬ」

nouvelle Fontaine

68

発行日 2020年10月25日
発　行 岸和田文化事業協会
〒596-0073　岸和田市岸城町5-10
岸和田市立自泉会館内
TEL/FAX 072-437-3801
Email:fontaine@sensyu.ne.jp
http://www2.sensyu.ne.jp/fontaine/

Music Art 'nd Theater Association

遠くて近い文化

堺シティオペラ一般社団法人副理事長
元大阪音楽大学教授　水谷　雅男

第9回を迎えた自泉ジュニアコンサートの審査がご縁で、広報誌“nouvelle fontaine”に登場することになりました。

音楽との出会いはピアノです。大阪市西成区苔山町（現天下茶屋）に金澤ピアノ塾があり、父が塾長と懇意だった事もあり幼稚園生の時から習い始めました。

小学生・中学生の頃は、父のSPレコードやNHKラジオクラシック番組、旧産経会館（現サンケイブリーゼ）で開催されるピアノ協奏曲（ハチャトリアンやチャイコフスキー）等を聴きながら育つ日々でした。家で弾き方の真似をして遊んだものです。

高等学校では合唱部のピアノを弾きつつ、気が付けば歌の方に興味を抱いていました。

大阪音楽大学声楽に入学してからは、学生服を着て真面目に勉強していました。ある日の午後「合同演習室」と称する４階５階吹き抜けの大教室の防音扉から、チャイコフスキーの『交響曲第6番（悲愴）』の第１楽章が聴こえてくるではありませんか。ちょうどクラリネットのソロの後の最微弱音から最大音のtutti（総奏）の場面です。「幼少期に家で聴いていた“悲愴”の大好きなシーンが、いま扉の向こうで演奏されている。しかも同年代の学友によって…。」これは忘れられない衝撃的な体験でした。「ああ自分はいま音楽大学にいるんだ！」と感激したのはこの時です。

嘗て大阪市内のホールで鑑賞していたオーケストラのマエストロがこの大学の先生であり、先輩たちが日常会話で「朝比奈先生、或いは宮本先生」と言っている事がとても羨ましく、自分もその会話に早く加わりたいと思いました。

しばらくして学年が進むと「東洋人である自分がなぜ西洋音楽を勉強するのか？」との疑問を抱き始めます。大学では「日本音楽」と「東洋音楽」の2教科のどちらかを受講する事になっていましたが、そこで疑問を払拭する体験がありました。

井野辺教授の授業で、荒神様（竈の神様）の難しい説法を民衆に易しく伝える為に、琵琶の弾き歌いによる辻説法を聴いた時のことです。それはまるで四七（よな）抜きの演歌のようです。その時まで、単なる大衆音楽と認識していた演歌は、陽旋法、陰旋法で書かれた日本音楽だったのです。

皆さまは「それは当然のことでしょ」とお思いでしょうが、私はその時まで西洋音楽こそが唯一の高潔な音楽だと信じていました。でもオーケストラのほとんどの楽器は、起源として東洋や西洋の楽器が入り混じっています。

各国（各民族）が固有の原語や文化を持つように、各地域においても長年に渡って育まれてきた独自の文化があります。

岸和田城を有する岸和田市にも歴史と文化があります。

自泉ジュニアコンサートから、次代の岸和田文化を担う若者が世界に羽ばたくことを切に願っています。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2月末から事業の延期や中止が続いていましたが、8月30日の自泉ジュニアコンサートより復活しました。再開第１号の事業で審査員を務めていただきました水谷雅男先生に寄稿していただきました。

各分野で活躍し岸和田にかかわりのある方々に、お話をお聞きします。

ワニのロマンと遊びませんか？

三館合同事業「おはなし×あそび きっしゃん“の”シリーズ」が始まります♪

まいや ゆりこ

初めまして。私は京都で子育てしながら、お芝居を作っています。私のお芝居は、遊び。おはなしの世界を、子どもたちと工作やダンスをしたり、謎解きをしたりしながら進めていきます。この遊びは、想像力と創造力を使います。目で、耳で、手で、時には全身で遊びます。それはとっても刺激的で、にぎやかな時間です。

過去舞台作品"かむじゆうのぼうけん"より

そんな遊びを岸和田で開催できることになりました！「おはなし×あそび　きっしゃん“の”シリーズ」と題し、子どもたちが描いたワニを飾ってお芝居を観たり、自分が作ったお面でキャラクターを演じてみたり、お芝居に参加してみたりと、様々な遊びを企画していきます。

私が初めて岸和田に来たのは3年前。きしわだアートプロジェクトで保育園に伺いました。そこでは、ハピドラや石琴などの少し変わった打楽器を使って劇遊びをしました。子どもたちが次から次へと楽器を持ちかえ、力強く叩く姿を今でも覚えています。

正直なことを言うと、コロナ渦での開催を迷いました。落ち着くまで待つべきだと思うこともありました。けれど迷っている私の側で、我が子はいつも遊んでいます。飽きては、次の遊びを見つけていきます。そんな姿に“子どもたちに待っている時間はない”ことを気づかされ、それならば“万全な対策をして、今の遊びを届けよう”と決めました。

今年は、シリーズ１「きっしゃん“の”宝×わたしの体でワニを作ろう」を開催します。

皆さんはキシワダワニを知っていますか？1994年に流木町で見つかったワニの化石です。この化石は、きしわだ自然資料館で見ることができます。私が大阪でワニの化石が発見されていることを知ったのは、大型児童館のワニの遊具でした。そんなワニの実物が見たくて、きしわだ自然資料館を訪れました。

ワニの化石は、漆黒の石でした。細部を覗くと、眼球が吸い込まれそうでした。化石をつなげた復元図は、私の体より大きくて堂々としていました。このワニはどんな暮らしをしていたのだろう？そうワニに思いを馳せていたら、かつてワニが暮らしていた地に今は私が立っていることに気づき、身震いしました。

～もしかしたら、私の体にもワニが眠っているかもしれない～

想像は、私を乗せて飛んでいきました。私の体にワニはいません。でも、もしかすると。子どもたちの想像が合わされば、私の知らないワニの世界が現れてくるかも♪

そんな、ワニのロマンで遊ぼうと思います。

当日は、体のラインからワニを描きます。汚れても良い服装でお越しください。この事業は、シリーズ２、３と続きます。次の「おはなし×あそび」も、お楽しみに！

シリーズ1 体のラインからワニを描きます

まいやゆりこさんは、11月から始まる今年度の三館合同事業「おはなし×あそび きっしゃん“の”シリーズ」で作・演出を務められます。2019年の市民参加の朗読劇や岸和田市立保育所でのアートプロジェクトなど、演劇を通して岸和田の文化に関わって下さっています。

めざせ！岸和田マイスター

【岸和田藩岡部家編】

監修：江間 一夫

岸和田市の持つ魅力をお伝えする岸和田マイスター。これまでに岸和田城、城下町、JR阪和線界隈、岸和田藩と岡部氏、市内の神社を問題形式でお届けしてきました。
このあたりで、もう一つ扉を開けましょう。
さらに奥深い岸和田を知ってみませんか。
今回は前号に続き、岸和田藩岡部家の歴代藩主について詳しくご紹介いたします。

【３】岡部長泰（ながやす）

官職：従五位下・備後守→美濃守
生没：慶安3年4月8日
　　～享保9年7月17日
　　1650～1724
　　（江戸生・75歳没）
在職：貞享3年8月25日
　　～享保６年９月22日
　　1686～1721
　　（37～72歳）
神社：元禄16年・伏見より三の丸寺神社勧請
　　→だんじり祭の始まり
業績：業績：正徳元年・享保4年・朝鮮通信使接待役
　　宝永元年・大和川付替　←【参考３】

【参考３】大和川付替普請手伝

①源流：奈良県桜井市・貝ケ平山（822m）延長＝68km
②工期：宝永元年（1704）2月13日・着工式（柏原）
　2月27日～10月13日＝224日
③仕様：川幅＝100間（約180m）　勾配＝1/100
　延長＝3里24町（約14km）堤防高＝約5.5m、川底掘削
④公儀普請：船橋村（八尾市）～川辺村（平野区）＝52町
　（5.7km）→　助役：川辺村～堺浦
⑤公儀奉行：普請奉行＝大久保甚兵衛忠香（江戸目付・1200石）伏見主水（江戸小姓組・1500石）堤奉行＝万年長十郎（大坂代官）
⑥御手伝：和泉国岸和田藩（岡部美濃守長泰5.3万石）
　　播磨国明石藩（松平佐兵衛督直常6万石）
　　摂津国三田藩（九鬼大和守隆久3.6万石）
　　播磨国姫路藩（本多中務大輔忠国15.3万石）
⑦付帯：大和国高取藩（植村右衛門佐家敬2.5万石）
　　丹波国柏原藩（織田山城守信林2.3万石）
⑧工区：瓜破付近→川辺村（平野区）・53番杭～城連寺村（天美北）・76番杭＝23町（約2.5km）
⑨工事負担：（費用＋人員）・1日平均12800人
　公儀＝37000両＋150万人　御手伝＝34000両＋136万人
⑩当初、姫路が御手伝普請を命ぜられていたが、藩主・本多忠国が死亡し、不幸にも岸和田藩にその役を命ぜられた。藩の負担金は約17000両（年間予算の約40％）の莫大な金額であった。藩の財政運営を更に困難にした。

【４】岡部長敬（ながたか）

官職：従五位下・内膳正
生没：延宝8年10月3日
　　～享保9年7月25日
　　1680～1724
　　（岸和田生・45歳没）
在職：享保6年9月22日
　　～享保9年7月25日
　　1721～1724
　　（42～45歳）
正室：老中・土屋政直の娘
制定：『享保備定』　←　軍事動員基準
役職：幕府・奏者番　←【参考４】
趣味：剣術＝柳生新陰流・絵画・書道

【参考４】幕府・奏者番

江戸幕府の職名。1万石以上の城主の格式をもつ譜代大名が任命されるのが一般的である。定員は20～30名。大名や旗本が将軍に拝謁するとき姓名や進物を披露し、下賜物を伝達する取次の役職。

寛永９年（1632）設置。万治元年（1658）以後、4名が選ばれ寺社奉行を兼任した。寺社奉行から大阪城代または京都所司代をへて若年寄から老中への通過門でもあった。しかし、長敬が急逝したため、残念ながら老中への夢は叶わなった。将軍世子に対しても同じ職務である西丸奏者番も設置されていた。

音楽の楽しさを学べる場所
ジュニアオーケストラ（ヴァイオリン）

指導者　前田　英子

岸和田市教育委員会の「少年教室」と言う事業の中で活動している「ジュニアオーケストラ」です。オーケストラと言う名前ですが、ヴァイオリンを中心とした合奏をしています。

現在主に指導にあたっているのは私、前田英子（ヴァイオリン）と高橋俊子先生（ピアノ）の二人です。

私は、ジュニアオーケストラの創始者であり岸和田では広く知られている奥野　茂先生の助手として、このオーケストラに関わる事になりました。その後奥野先生が亡くなられてからは、ジュニアオーケストラの卒業生で高校の同級生でもある福本さんと一緒に指導をしてまいりました。

福本さんが出産で引退後、高橋先生が引き継ぎました。高橋先生の娘さんはジュニアオーケストラの卒業生で、指導にも携わっています。

私が小学生の頃、岬町で奥野先生個人が開いたヴァイオリン教室に通ったご縁でジュニアオーケストラの指導者となりましたが、考えてみれば指導者全員が奥野先生と深く関わりのある人ばかりなのです。

例年であれば主な活動として、6月は教育委員会主催の「フレンドシップコンサート」11月は公民館祭り、3月には発表会を行っていますが、この度のコロナ禍で昨年の発表会から今年度の公民館祭りまでの予定は全て無くなってしまいました。

練習の成果を多くの方々にお聞き頂けないのは、日頃から練習を重ねている子どもたちはもちろんの事、指導者である私たちも非常に残念です。

ジュニアオーケストラは中央公民館で練習をしています。なかなか山手の学校からは生徒が集まりにくく、近場の学校からの参加が多くみられます。友達がいるから、兄弟がやっているからと積極的に参加する子もいれば、親に言われて渋々入った子もいます。そんな子どもたちも友達ができると毎週楽しそうに参加してくれています。

ヴァイオリンは、それを演奏する技術はもちろん大切ですが、このジュニアオーケストラは仲間が集まって合奏をするという音楽の楽しさを学べる場所だと思っています。

そんな音楽の醍醐味を子どもたちが感じてくれたら指導者としては最高です。

今年度は4名の新入生を迎え、総勢26名となりました。コロナの影響でいつになったら始まるのかと不安はあったものの7月からやっとスタート。集まって音楽ができる喜びを感じながらも、例年のような発表の場が無くなってしまった事が非常に残念です。

観客を前にして舞台に立つ独特の緊張感は他では体験できないので、早くコロナが収束し堂々と文化活動ができる日を待ち望んでいます。

（取材　近江・小木曽）

ジュニアオーケストラ

＜教室案内＞

毎週土曜日　午前 10 時から 12 時
中央公民館　4 階にて
岸和田市内の小学 4 年生から中学 3 年生
（各戸に配布される
「いきいき学びプラン」に掲載）

コロナ禍において、活動を再開したクラブや教室に聞いてみました

折り紙教室㊨　うたごえ　ららら㋒　手芸クラブ Bear's Paw ㊥

【アンケートを取るに至った経緯】
2020年3月くらいから自粛によってクラブや教室が活動を休止しました。自粛が少しずつ緩和されたことによって、どういう風に活動を再開されたのか、皆さんの様子をお聞きしたくアンケートを取りました。

●いつから再開されましたか?

㊨ 6月20日

㋒ 7月から

㊥ 6月から月２回

●生徒さんの感想はいかがですか?

㊨ 以前と変わらず楽しんでくれています。いつ再開されるか見当もつかず、いろんな事を自粛するステイ・ホームの中、心待ちにしてくれていた様で元気な笑顔に癒されました。

㋒ 待ってました!やっと歌える～

㊥ 自粛の期間が長かったので、教室の再開は待ち遠しく思っていました。マスクの講習を受けていたので、家族や友達に作って喜ばれました。

●教室をする上での工夫は?

㊨ 公民館の講座なので基本的な事は館の指導を守っています。
事前の検温・手の消毒・マスクの着用・密にならない様に席の間隔をとる、などです。
終了後の机や椅子等の消毒は講師の私ではなく館の方が請け負ってくれています。

㋒ お互いの距離をとって座る。
マスクをしながらの練習なので、休憩をこまめに入れる。

㊥ 30人用の部屋に、半分以下の14人で使用し、密にならないよう、椅子を一つとばしにして座っています。
事前の検温を忘れた人のために、非接触の体温計を持参しています。
まだまだ感染の心配があるので外出を減らして家で手作りができるよう、宿題を出しています。

●練習等の成果を見ることができる場がありますか?

㊨ なし。例年秋の「館祭り」があるのですが、今年は感染予防の観点から一部の講座やクラブが未だ再開出来ず、いろいろな状況を鑑みて館祭りの中止が決定したそうです。

㋒ なし

㊥ いつもなら公民館まつりで展示しますが、今年は中止なので、今のところ展示予定はありません。

●現在の状況は?

㊨ 公民館からの講座中止の連絡は頂いてないので9月からも継続出来るのかな?と思っています。

㊥ 皆さん変わりなく出席してくれていますが、マスクをつけての講習なので、疲れないよう普段は2時間のところ1時間から1時間半で終わるようにし、水分補給してもらうよう飲み物を持参してもらっています。

●その他

㊨ コロナ禍でも、皆さんそれぞれ新しい暮らし方を模索しつつ暮らしています。
子ども達は学校生活のスタートとして大切な1学期や短い夏休みを十分楽しめたのかしら?
大人の方達とて、日常生活の上でまだまだ安心出来ない状況が続いているので一日も早く収束することを願うばかりです。その状況下でたった月に1回の短い時間ですが講座に来て好きな折り紙で気分転換してくれたら…と思っています。

㊥ 毎年5月に体験講習をして新しい方を募集するところですが、今の状況ですと部屋の大きさのこともあり、来ていただくことができません。

３つの教室の取り組みや様子はいかがでしたでしょうか?何年かは、以前と同じような生活様式には戻れないと言われていますので、新しい方法をさぐりながら、楽しみを見つけていかないといけないのかもしれませんね。

（集計担当　小木曽）

折り紙教室
（大宮地区公民館）

うたごえ　ららら（自泉会館）

手芸クラブ　Bear's Paw（中央公民館）

一語一縁

Ichigo-Ichien

【未来へ　ここから】

ピアノ　～出会い～

自泉フレッシュアーティストバンク　森本 美希

岸和田で生まれ、私がピアノを始めたのは9歳の頃でした。当時からピアノを弾くことが大好きで、今もこうして演奏させていただけることを心から幸せに思います。

有り難いことにこれまで素晴らしい先生方に出逢うことができ、演奏する上で大切なことをたくさん教えていただきました。音楽のことだけでなく、精神的にも大きく支えていただき、どんな時も寄り添ってご指導してくださった先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。

大学卒業後には5年半の間フランス・パリの音楽院で勉強させていただきましたが、そこでの生活は私の音楽に対する姿勢を大きく変えてくれました。これまで練習室でピアノをひたすら練習してきた私にとって、自由で愛や芸術に溢れたパリはとても刺激的な街でした。練習室の中だけでは得られなかったイメージや色彩感、感情やパッションなどをパリで多く得た気がします。

今こうして過去を振り返り、ピアノを通してたくさんの素敵な出逢いや幸せを感じながら生きてこれたことを実感しています。どんな時も私にはピアノがあり、側で支えてくださる人達がいることは決して当たり前ではなく、本当に幸せなことだと改めて感じます。

現在は演奏活動をしながら後進指導をさせていただいておりますが、これまでの経験を大切に、日々感謝しながら、演奏者として心の琴線に響くような音楽を求め、またそれを指導者としても伝えていけるようになりたいと思います。

＊岸和田文化事業協会は、自泉フレッシュアーティストバンクをとおして若い芸術家を応援しています。

ふぉんてーぬ 68 号を手に取ってくださった皆様へ

ぬーべるふぉんてーぬ
編集委員一同

この原稿を書いているのは2020年８月末です。７月25日発行のふぉんてーぬは休誌となりました。取材もままならず止むを得ずの措置でした。観るはずの舞台、聴くはずの音楽、楽しみにしていたものがいくつも失われました。収入の減少、失職する人も・・・。なんて世の中かと、やり場のない感情を持て余してきた数ヶ月でした。

それでも人は強いものです。得体の知れないウイルスを恐れつつもそれと対峙し戦い、共に暮らす術を探しています。岸和田文化事業協会も活動を再開しました。まだまだ不安の残る時期ですが、こんな時だからこそ文化を発信していくことが大切だと思ったのです。

cultureの語源は耕すこと。より豊かな暮らしを求め発展してきたのが芸術。生活の中から生まれ育ってきたのが文化なのですね。「劇場の火を消してはならない」「Show must go on」大きな災害や今回の自粛期間中に何度も耳にした言葉です。世界中で多くの人が文化を守り発信するため工夫を凝らしています。私たちもそうありたいとの思いを込め、今号はコロナ禍での活動をひとつのテーマとしました。発行は10月25日。その時どんな世界になっているかはわかりませんが、今の暮らしをお伝えできたらと思います。

＊一語一縁のページでは、会員の紹介に加え【未来へ　ここから】と題し、自泉フレッシュアーティストバンク登録者も紹介して行きます。

Event Report

アンケートからの抜粋

協会主催の事業にご来場いただき、有難うございました。
アンケートにご協力いただいた方の感想を紹介させていただきます。

第9回自泉ジュニアコンサート

日時:8月30日(日)午後2時
入場者数8人(往復はがきでの申し込み)

新型コロナウイルス感染症が発生してから、初めての一般観客を迎えての事業でした。

今回は、出演者や家族・先生・審査員の方々にも、今までのコンサートとは違う形で進めることのご理解を頂き、準備に準備を重ね当日を迎えることができました。

また出演の子どもたちは、自泉会館ホールに素敵な音色を響かせ、とても素晴らしいコンサートを作ってくれました。

観客も往復はがきでの申し込みは20名までといたしました。当日14名の観客の予定でしたが、実際は8名しか来られず残念ではありましたが、たくさんの方に観ていただく機会をと、当日の様子をビデオに録り後日上映会も行います。

出演者15組の中から4組の優秀者が選ばれました。
最優秀賞：中地莉子　高校3年生(ピアノ)
優　秀　賞：中澤蒼明　中学1年生(ピアノ)
吉田龍司　中学3年生(ピアノ)
安村誠人　高校卒業生(オーボエ)

最優秀賞　中地 莉子

優秀賞　中澤 蒼明

優秀賞　吉田 龍司

優秀賞　安村 誠人

お知らせ 会員の方は8面に文化情報を掲載することができます。掲載希望の方は事務所までお越しいただき用紙にご記入ください。多数希望の方がいらっしゃる場合や当協会主催の事業がたくさんある場合はご希望に添えないこともあります。ご了承ください。

お願い 岸和田文化事業協会で取り上げてみてはどうかと思われるコンサートや展示会がございましたら、ぜひ事務所まで案を届けてください。今後の参考にさせていただきます。

●自泉会館では、新型コロナウイルス感染症防止のため事業鑑賞人数等を縮小して行っています。ご了承ください。
●自泉会館をご利用の際は、手指の消毒、マスク等の着用、社会的距離の確保、体調の悪い方の入館はご遠慮ください。また館内は換気のため扉等を開放しています。ご了承ください。

私みたいになるな!汚部屋の過去から学ぶ「片づけセミナー」

日時:9月27日(日)①午後1時30分②午後3時
(応募者数が多数のため追加講座)
入場者数:①18人②18人(往復はがきでの申し込み)

〈皆さんの声〉
◆私と同じ体験を先生もされていたことにびっくりしました。最初は勢いよく片付けますが、懐かしいものや紛失物を見つけ、手が止まり、あっという間に一日が過ぎます。今日教えていただいたことを参考に明日から頑張ってみます。
◆片付けの考え方がよくわかりました。自分にとって必要不必要なものかを考えるところから始めます。
◆要らないものを選び取る行為はむつかしいですが、好きの使用頻度を重きにおいて片づけてみます。

第60回自泉フレッシュコンサート

日時:10月2日(金)午後6時30分
入場者数:22人

〈皆さんの声〉
◆お二人とも自由自在に音を奏でられていて楽しそうでした。
◆メンデルスゾーンのソナタはあまり聞く機会がなく、とても興味深く聞かせていただきました。
◆色をイメージしながら聞くのは初めての経験でとても楽しい時間でした。

世界最古のオーケストラ「雅楽」～東洋と西洋～

日時:10月3日(土)①午前10時②午後1時
入場者数:①50人②50人

〈皆さんの声〉
◆テレビでしか観たことがない私としては、伝統芸能に触れられたことに感謝いたします。
◆岸和田にこんなにすばらしい能楽堂があったことを初めて知り、地元の人間として恥ずかしい限りです。
◆雅楽について、元宮内庁楽部の方に西洋と東洋の音楽の違いをしっかり説明していただき嬉しく思います。
◆詳しく説明をお聞きし、少しは雅楽の入り口に近づけたと思っています。それぞれの楽器の音色の美しさ、式調が違えば全く違う曲になってしまう奥深さ…楽しませていただきました。

岸和田文化事業協会の事業 Information

●自泉会館を知る

日　時：11月14日(土)午後2時より
会　場：岸和田市立自泉会館ホール
講　師：行　龍男（城址保存会副会長）　伊石　有里（ピアニスト）
参加費：500円（資料代）
募集人数：30名
申込方法：往復はがきのみでの申し込み
往復はがきに住所、氏名（返信はがきには宛名）電話番号を記入し、10月 30 日（消印有効）までに、岸和田文化事業協会「 自泉会館を知る 」係までお申し込みください。参加希望者が多数の場合は抽選となります。
11 月 7 日までに 抽選の結果を返信いたします。

●第61回自泉フレッシュコンサート

日　時：12月19日(土)午後2時開演(午後1時30分開場)
会　場：岸和田市立自泉会館ホール
出演者：土生　夏未（ソプラノ）
吉田　絢音（ピアノ）
入場料：一般前売1,200円
会員前売1,000円
（いずれも当日200円増）
チケット発売日：10月30日(金)午前10時～
チケット販売場所：岸和田市立自泉会館事務所
定員：20名

●チェコ・ハンガリー ～中欧ヨーロッパからの響き～

日　時：11月21日(土)午後2時開演(午後1時30分開場)
会　場：岸和田市立自泉会館ホール
出演者：加藤　真由子(声楽)　森本　美帆(ピアノ)
入場料：前売1,000円
当日1,500円
チケット販売場所：岸和田市立自泉会館事務所
定員：20名

●第4回自泉クリスマス会 聖歌隊ワークショップ

①初心者コース
日　時：12月20日（日）午後1時～3時
会　場：岸和田市立自泉会館ホール
指導者：角野　芳子
②経験者コース
日　時：12月20日（日）午後3時15分～5時15分
会　場：岸和田市立自泉会館ホール
指導者：西村　文花

募集人数：各20名
参加費：各1000円
①・②いずれも申し込みは、11月6日(金)午前10時～先着順
こちらの申し込みは自泉会館までお電話で。TEL072-423-9743

●ベートーヴェンの軌跡 作品から読み解く“楽聖”の人生

日　時：11月28日(土)午後5時開演(午後4時30分開場)
会 場：岸和田市立自泉会館ホール
出演者：原　由莉子(ピアノ)
入場料：前売1,000円
当日1,500円
チケット販売場所：岸和田市立自泉会館事務所
定員：30名

●第4回自泉クリスマス会　作品展

いろいろなジャンルの公募作品を展示します。
日　時：12月16日（水）～20日（日）
午前10時～午後5時（最終日のみ午後3時まで）
会　場：岸和田市立自泉会館展示室
入　場：無料

●子どもによるファミリーコンサート

①朗読と音楽で綴る「海を見たくま」
日　時：12月5日（土）午後4時開演（午後3時45分開場）
会　場：岸和田市立自泉会館ホール
指導者：目　華子 氏
②弦楽コンサート ～うきうきノエル～
日　時：12月6日（日）午後6時30分開演(午後6時15分開場)
会　場：岸和田市立自泉会館,ホール
指導者：堺　靖師 氏

入場料：無料
募集人数：各30名
申込方法：往復はがきのみでの申し込み
往復はがきに住所、氏名（返信はがきには宛名）電話番号を記入し、11月 15 日（消印有効）までに、岸和田文化事業協会「海を見たくま」係または「弦楽コンサート」係までお申し込みください。参加希望者が多数の場合は抽選となります。11月25日までに 抽選の結果を返信いたします。

■お問い合わせ　岸和田文化事業協会事務局まで
TEL/FAX 072-437-3801　E メール fontaine@sensyu.ne.jp

2020年度（2020年4月~2021年3月）

会員募集

年会費（入会費不要）	個人会員（1口）	2,000円	団体会員（1口）	5,000円
	家族会員（1口）（個人会員の同居家族）	1,000円	法人会員（1口）	10,000円
			特別会員（1口）	50,000円

入会方法　協会事務局（自泉会館）で直接受付致します。
郵便振込の場合は 口座番号 00970—9—28145
加入者名　岸和田文化事業協会
詳しくは、岸和田文化事業協会事務局まで
TEL/FAX 072-437-3801　Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

nouvelle Fontaine
vol.68
発行：岸和田文化事業協会
発行日：2020年10月25日

◆事務局
〒596-0073
岸和田市岸城町5-10　岸和田市立自泉会館内
TEL/FAX 072-437-3801
Eメール fontaine@sensyu.ne.jp
◆編集委員　近江和代・小木曽由季・黒木幸子・小末もとえ

編集後記…

芸術の秋、スポーツの秋、読書の秋、行楽の秋…。楽しいイベントが盛りだくさんの季節ですが、今年はずいぶん様子のちがう秋になりそうです。食欲の秋だけは変わらないかも（笑）願わくば、実り多き秋となりますように。　（小末）

http://www2.sensyu.ne.jp/fontaine/
岸和田文化事業協会　検索